

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	振動業務従事者等に対する巡回特殊健康診断事業		担当部局	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和49年度開始・平成22年度終了		担当課室	労働衛生課		椎葉 茂樹		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	II-2-2 労働者が安全で、健康に働く職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第22条第2号		関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画、昭和50年10月20日付け基発第610号(改正:平成21年7月10日付け基発0710第1号)、平成21年7月10日付け基発0710第2号				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	振動業務従事者に対する特殊健康診断は、法令で実施が義務づけられているものではなく、振動障害の予防と早期発見のために、通達により、林業のチェーンソー使用労働者に対する実施を事業者に指導勧奨したものである。林業等については、規模が小さい事業場が多く、また、季節的に業務量の偏りが多いこと等から、労働者の事業場間での異動割合が多いため、事業者が指導勧奨された振動病の特殊健康診断を積極的に行う環境にないことから、健康診断実施を援助する対策が必要である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	振動障害の予防をより一層推進するため、振動特殊健診未実施チェーンソー取扱事業場及び労働者に対して振動特殊健康診断の実施等を促進するよう受診勧奨等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	当初予算	17	17	12				
	補正予算							
	繰越し等							
	計	17	17	12				
	執行額	17	17	0				
執行率 (%)	100%	100%	0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	振動障害の巡回特殊健康診断の有所見率		成果実績					
			達成度	%	4.50%	7.20%	0%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	振動障害の巡回特殊健康診断の受診者数		活動実績 (当初見込み)	人	7500	7500	0	—
					7500	7500	() ()	
単位当たりコスト	5,400 (円/受診者数)		算出根拠	平成21年度における執行額40,561千円を巡回特殊健診受信者数7,500人で割ったもの。執行額40,561千円は、本事業と林業チェーンソー取扱労働者健診促進事業の執行額の和(平成22年度から本事業に統合された。)なお、平成22年度は事業を実施しなかったため、平成21年度の実績に基づき算定している。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検						
	評価	項目	特記事項			
目的・状況・予算の 資金の流れ、使途、費目・ 活動実績、成果実績	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。				
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。				
	一	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。				
	一	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。				
	一	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。				
	一	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	一	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				
	一	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				
点検結果	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。				
	一	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。				
	一	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。				
	一	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				
※ 平成22年度は事業を実施しなかった。						
予算監視・効率化チームの所見						
――		――				
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)						
――						
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）						
――						

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてプロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					